

さとやま しき  
里山の四季

加羅古呂庵 一泉

2020.10.10 作曲

## さとやま し き 里山の四季

中山駅から歩いて15分ほどのところに、豊かな里山の自然をそのままに残した「四季の森公園」があります。周辺の市街地開発が進む中で、広大な森が残り、その谷あいには湿地や水田、池が点在しています。単に自然が広がるだけでなく、谷戸と里山は、人の暮らしを支え、また人の手が加わることによって自然の中に多くの動植物を育んできました。

この「四季の森公園」というかたちで残された里山と谷戸が、四季を通じて織りなす風景をイメージして、箏・十七絃・尺八の合奏曲を作ってみました。短い導入部のあと、「山の桜」「葦原湿原の輝き」「紅葉の谷」「マンサクの花が咲く頃」の4つの部分を展開し、最後に軽快なテンポで終曲に向かっていきます。